

シンポジウム
進歩自由夢

人間が大きく見える里山づくり

～地方創生から集落創生へ～

と き：平成27年12月13日（日）午後1時～

ところ：三次市民ホール「きりり」大ホール

講演
1



内閣府地方創生総括官
山崎史郎氏

講演
2



「里山資本主義」著者
藻谷浩介氏

地方創生が叫ばれる今、時に翻弄されないで我々はどうやって生き残ればよいのか・・・
その答えは、「人間を中心に据えた里山づくり」にこそあると確信できるシンポジウムです。
今話題の人物が勢揃いします。是非お越しく下さい。

シンポジウム

コーディネーター：和田芳治氏

コメンテーター：山崎史郎氏・藻谷浩介氏

シンポジスト：井上恭介氏・佐藤博氏・松島匡史氏・松場登美氏・中島浩一郎氏・熊原保氏

※詳細は裏面をご確認ください。

主催：「人間が大きく見える里山づくり」シンポジウム 進歩自由夢実行委員会

主幹・お問合せ：社会福祉法人 優輝福社会 地域貢献係

Tel. 0824-75-0310 / Fax. 0824-72-4560

①開会・講演（午後1時～午後2時40分）

※事前申し込みは不要です。

講演1

講師：山崎史郎氏

内閣府地方創生総括官。安倍内閣が推し進める地方創生政策の中心官僚。

講演2

講師：藻谷浩介氏

「里山資本主義」の著者。日本総合研究所調査部主席研究員。著書「デフレの正体」で、生産年齢人口という言葉を定着させた。

②シンポジウム（午後2時50分～午後5時30分）

講師・コメンテーター：山崎史郎氏・藻谷浩介氏

コーディネーター：和田芳治氏（逆手塾主宰。里山をこよなく愛し、食べ物にする好好爺。庄原市総領町木屋在住。）

シンポジスト	井上恭介氏 「里山資本主義」の共著。当時はNHK広島取材班チーフプロデューサー。最新著は瀬戸内の海 SATOUMI をテーマにした「里海資本論」。東京在住。
	佐藤博氏 厚生労働省 社会・援護局退官後は、故郷秋田の社会福祉施設で、地域の「食・農」に関する資源を有効に活用する地域福祉を実践する。
	松嶋匡史氏 大手電力会社から周防大島のジャム屋さんへ華麗?な転身を果たした。自分も地域も利益をあげるジャム作りをすすめる。今、島を目指す若者が増えている。
	松場登美氏 石見銀山を楽しみ、発信し、大切に。木のように地域に根ざし、孫の代まで繋がる衣食住を提案する。内閣官房・都市整備本部任命の地域活性化伝道師。
	中島浩一郎氏 木材のまち真庭市で製材所を経営する。製材の過程で出る木くずを使って木質バイオマス発電に取り組み、年間約1億5千万円のプラスになっている。
	熊原保氏 社会福祉法人優輝福祉会理事長。福祉施設をポンプ役として、地域の困ったを宝に、笑顔しながら無縁社会の克服を目指す。

第一部

③交流会（午後6時30分～午後8時30分）

※事前申し込みが必要です。

場所：グランラッセレ三次（三次市十日市南1-5-5）

参加費：お一人5,000円（交流会の会場で戴きます）

講師・シンポジストの皆さんと交流したい方は奮ってご参加ください。

第二部

里山交流
コーナー

三次市民ホール「きりり」のホワイエを利用して、里山の宝（産品）の展示、実演、販売を行います。40万部を超えるベストセラー「里山資本主義」に掲載された、あれやこれやも展示、実演、販売されます。関連本の販売もあります。このコーナーもお楽しみに。

会場
のご案内

平成26年に誕生した三次市民ホール「きりり」がシンポジウムの会場です。会場へのアクセスは、三次市民ホールのウェブサイト【<http://www.kiriri.org>】でご確認ください。駐車場はありますが、乗り合わせてのお越しをお勧めします。交流会の会場グランラッセレ三次は、JR三次駅から東に徒歩5分の所にあります。